

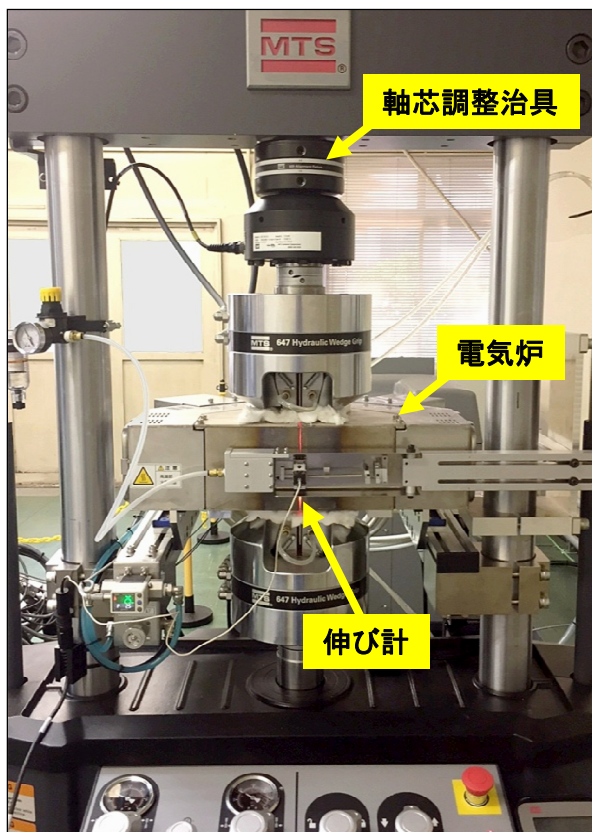


高温低サイクル疲労試験

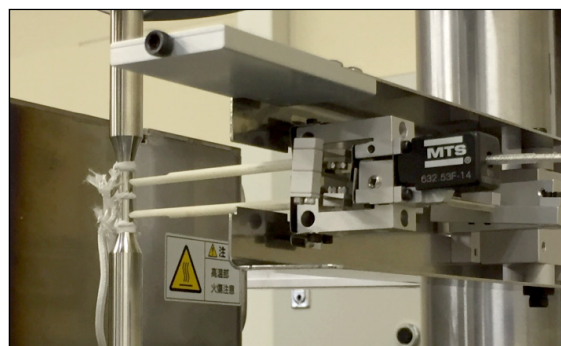
炉温の安定性に優れた電気炉を用い、1200℃までの高温試験が可能です。

試験機的主要仕様

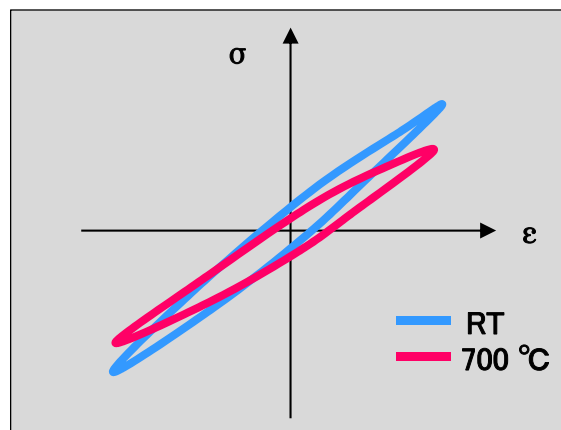
- 試験機 : MTS社製 油圧サーボ疲労試験機
- 負荷容量 : ±100 kN(炉外で試験片をつかむため、高温下でも試験力は落ちません)
- 最大ストローク : ±75 mm
- 試験温度 : 300℃～1200℃(試験片の材質によって変わる場合があります)
- 加熱方法 : 電気炉(上記温度範囲において±3℃以内に制御)
- 軸芯調整治具 : 有り(ASTM E1012に対応しています)
- 試験片形状 : 標点12 mm、丸棒試験片(下段図)
- 適用材料 : 金属材料(セラミックス溶射材なども含む)



試験機外観



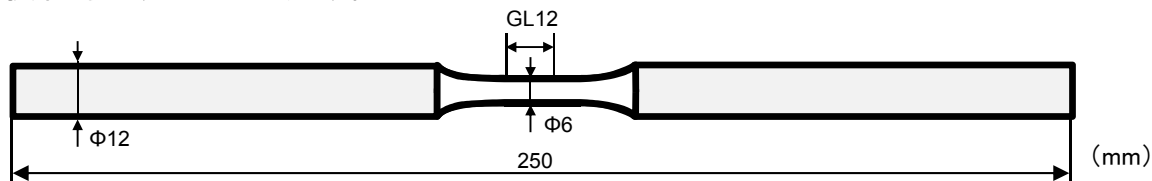
伸び計



ヒステリシス曲線(イメージ)

試験片形状

標準的な試験片形状は、下図のとおりです。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

☎ 0120-643-777

Copyright ©2017 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。